

高圧受電設備設置者の皆さまへ

波及事故の影響について考えましょう。

うちの事故が原因でとんでもないことになった!

# 波及事故

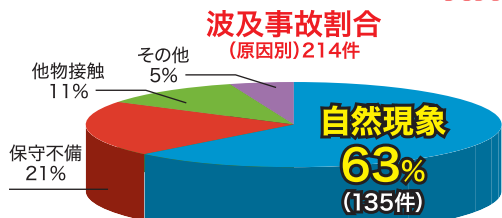
## を防止するために

### 【自然災害【雷編】】



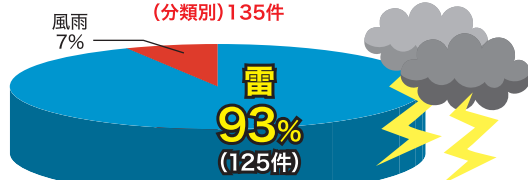
## 2013~2020年度 中部地区における 波及事故の実態

波及事故は雷害によるものが全体の半数以上を占めています。



波及事故原因の約6割が自然現象

自然現象による波及事故割合 (分類別) 135件



自然現象原因の9割以上が雷です。

(一財)中部電気保安協会データより



波及事故が発生すると、自社の損失だけでなく、他社の営業・操業停止など、社会的に大きな影響を及ぼします。場合によっては、多大な損害賠償を請求されるケースもあります。※事故発生箇所の付近一帯が停電します。

## 波及事故の損害額について

1. 波及事故発生者の損害額例 2. 波及事故被害者の損害額例

- ① 突然の停電による操業停止等の費用
- ② 緊急の仮設工事の費用
- ③ 破損した電気工作物の改修費用は状況により100万円~1,000万円以上と様々です。

- ① 突然の停電による操業停止等の費用状況により1,000万円を超える事例もあります。

参考: 関東東北産業保安監督部 波及事故防止のお願い ~自家用電気工作物設置者の皆さまへ~



高圧交流負荷開閉器	屋外用:10年または負荷電流	高圧進相コンデンサ	15年
高圧CVケーブル	15年((一社)日本電線工業会調べ)	高圧配電用変圧器	20年
交流遮断器	20年または規定開閉回数	避雷器	15年